

Ⅲ 都心部まちづくりの重点事業

1 播磨の中核都市、西播磨テクノポリスの母都市をめざしたまちづくり

(1) キャスティ21

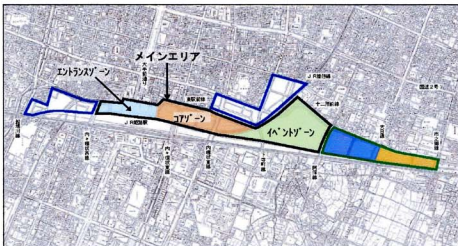
キャスティ21は姫路駅周辺でJR山陽本線等連続立体交差事業により新たに発生する広大な用地を活用し、「広域圏の中核都市にふさわしい、にぎわいとうるおいにあふれた交流都心」の形成を目指す新しいまちづくり計画です。

鉄道高架事業や姫路駅周辺土地区画整理事業、関連道路事業等の基盤整備を一体的におこなうとともに、エントランスゾーン、コアゾーン、イベントゾーンなどのゾーン区分をおこない、立地条件や用地の条件にふさわしい機能を導入して機能分担を図るとともに、相互の連携を重視して全体として播磨の中核都市、また、西播磨テクノポリスの母都市にふさわしい、高次都市機能の導入を目指しています。

これらのゾーンとその周辺においては、目標とする土地利用の誘導と良好な景観形成を実現するために、都市計画法や建築基準法等に基づく各種土地利用誘導方策等の活用について検討します。

また、広大な用地であること、JR高架化工事や周辺道路整備との関係で使用収益開始時期がゾーン、ブロックによって異なることから、段階整備が必要になると考えられるため、キャスティ21の整備効果及び都心部全体への波及効果が最大限になる整備手順を検討します。

キャスティ21区域



① エントランスゾーン

播磨の中核都市・姫路の玄関口にあたるこのゾーンは、鉄道高架事業、姫路駅周辺土地区画整理事業、関連道路事業の整備スケジュールにあわせ、中核都市にふさわしい都市の顔として整備を進めます。

- 新駅北広場についてはバスターミナルやタクシープールなどの交通施設の再整備をおこない、交通結節点機能の向上や周辺街区と街路との接続に配慮するとともに、ユニバーサルデザインの視点に立った、誰もが利用しやすい交流広場として整備を進めます。
- 新駅ビルについては、姫路城への眺望の確保や姫路らしい景観に配慮しつつ、公共と民間の適切な役割分担のもと関係機関との協調を図りながら、姫路の玄関口にふさわしいものにします。また、既存地下街については、地下通路での連結を基本に整備のあり方を検討していきます。
- 高架事業の進捗にあわせ、姫路を訪れる観光客や来街者のための観光案内所や土産など地域の物産の販売所を整備します。

② コアゾーン

エントランスゾーンに隣接するこのゾーンは、都市基盤整備により新たな街区を形成し、魅力ある商業施設や付加価値の高い都市的サービス産業などの導入を目指し、新たな高次都市機能が集積する商業・業務拠点として期待されるゾーンです。

- 姫路駅周辺土地区画整理事業により、新たな高次都市機能の集積にふさわしい都市基盤整備を進め、段階的な土地利用を促進します。
- 公共と民間の連携・協調を図り、適切な役割分担により、新たな商業・業務施設の立地誘導方策を検討し、基盤整備が完了したところから、都市型ホテルやシネマコンプレックス、教育、文化、医療・健康といった付加価値の高い都市的サービス産業など新しい機能の導入に努めます。
- 以上の期待される導入機能は、基本的には民間が事業主体になることが想定されるため、コアゾーンにふさわしい機能や建築物が円滑に立地できるよう、特定の建物用途、建築物の高さや形態、敷地面積の最低限度などを規制・誘導する都市計画の方策（特別用途地区、地区計画制度、高度地区・高度利用地区等）の活用について検討します。また、特に期待する機能については、民間の立地意欲を高めるような支援、優遇策等についても検討します。

③ イベントゾーン

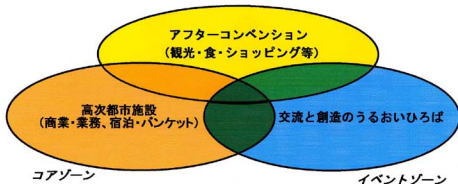
このゾーンは本市が所有している都心部に残された最後の大規模創造空間であり、新たな都心部のまちづくりにおいて重要な役割を担うゾーンです。このため、「播磨の中核都市・西播磨テクノポリスの母都市としての役割を果たす」「産業・経済交流活動を通じた姫路市のさらなる活性化」また、「市民が多様な活動や気軽な健康づくりをおこなうことを通してゆたかな生活を享受する」などの目的で、幅広く有効に活用することが望まれます。

さらに、本ゾーンに拠点機能を導入することで、人々が回遊する新たな動線が形成され、都心部の回遊性の面的な拡大による賑わいのある都心づくりが期待できます。

以上のことから、本ゾーンを「交流と創造のうるおいひろば」と位置づけ、交流、創造、うるおいをキーワードとする機能の導入を進めます。

なお、鉄道からの眺望を考慮して、人々の印象に残る空間づくりを検討していきます。

イベントゾーンのコンセプトと機能連携イメージ



ア 交流機能

世界に誇る学術研究施設がある播磨科学公園都市の先端技術をはじめ、広く学術研究や産業技術、製品等の紹介・展示、市民や圏域住民、時には国内外の人々が集う幅広い交流、楽しい屋内外のイベントの開催など、様々な規模の交流活動の場です。

また、合併による市域拡大を踏まえ、市民が姫路市としての一体性を確立するとともに、豊かな独自の文化を持つ各地域を知り、学び、尊重しあう土壌づくりの場としての機能でもあります。

●導入が必要とされる場

- ・展示・屋内外イベントの場（種々の規模・用途に活用できるフレキシブルなもの。会議室併設）
- ・各地域の歴史・文化の紹介の場

イ 市民活動充実に資する創造活動支援機能

市民の自主・自律的な活動ニーズにこたえ、芸術・文化活動の創造・発表の場など、市民が心豊かで生き生きと楽しみのある生活を送ることができる機能です。

また、子供から高齢者まで、誰もが主体的かつ気軽に利用し活動することで自己実現が図れる、多様で多世代が交流できる場であるとともに、市民の間でますます高まりをみせるボランティア活動やNPO活動など市民活動の場としての機能です。

●導入が必要とされる場

- ・創造の場（スタジオ・ミニホール等）

ウ 観光支援・都心交通円滑化支援機能

幹線道路からの良好なアクセス条件を活用し、姫路城をはじめとする都心部の観光スポットへの車の玄関としての機能です。同時に、周辺地区の観光資源の案内等をおこなうことにより、観光振興に寄与する機能です。

また、駐車場とループバス・レンタサイクル等の組合せで、都心部に流入する自動車交通量を軽減し、環境にやさしい都心部の形成に寄与する機能でもあります。

●導入が必要とされる場

- ・来街者支援の場（観光案内所、トイレ、キオスク、ループバスストップ、レンタサイクルセンター、大規模駐車場等）

エ 各活動を促進・支援するプロデュース・サポート機能
交流や創造活動支援など、イベントゾーンで営まれる活動を促進するとともに、裏方となって実施を支援する機能です。

- 導入が必要とされる仕組み
・各活動を支援する事務局等（イベントゾーンの活動に密着したもの。）

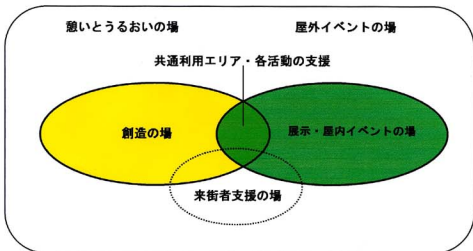
オ 憩いとうるおいの機能

緑や水辺の導入を図り、市民の多世代が集い、憩いやうるおいを共有するとともに健康づくりにも寄与することができる空間機能です。

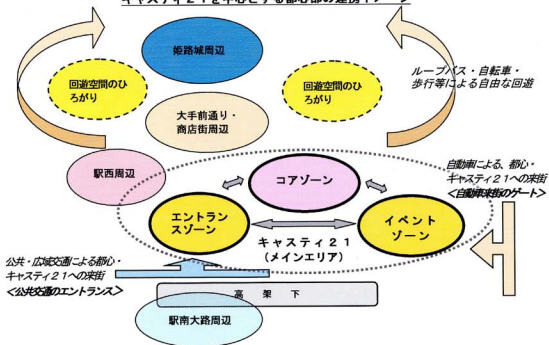
- 導入が必要とされる場
・憩いとうるおいの場（市民ひろば・市民の森等）

これらの機能を複合的・段階的に導入し、緑とうるおいにあふれた人・もの・情報の交流拠点としての整備を進めていきます。

イベントゾーンのイメージ



キャスト21を中心とする都心部の連携イメージ



キャスト21の3ゾーンの機能分担・連携イメージ

